

第6回 帛の郷運営推進会議 会議録

園長	次長	係長	主任

令和	4	年	3	月	23	日	(水)	司会	記録				
午前	午後	10	時	00	分	～	10	時	30	分	まで	馬場	馬場

<p>【出席者】</p> <p>樋口玲子、大野廣榮、大橋昇、原要助、山崎浩志（五泉小学校校長）</p> <p>小倉百合子、田村美咲（五泉市高齢福祉課）、鈴木辰衛</p> <p>矢部園長、山田次長、小野係長、馬場</p> <p style="text-align: right;">計 12名</p>	<p>【欠席者】</p> <p>齋藤正隆</p> <p>岩村一千八</p>
---	---------------------------------------

議題	協議内容・結果
1. 開会挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矢部園長より挨拶 ・ 蔓延防止等重点措置が解除となり、今回会議が開催できた。帛の郷入居者及び職員には新型コロナ感染者は出ていない。ワクチン接種は3回目接種を終了した。今年度委員の方の任期が2年のため切れるので、交代がある場合は相談したいのでよろしくお願いします。
2. 施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入退去なし。 ・ 3/1女性1名胸膜炎にて市外病院入院 ・ 男性1名看取り介護 ・ 平均介護度4.1 平均年齢91歳 ・ 窓越し面会、オンラインでの面会継続している。 ・ 看取りでの面会は一定の条件下で対面で実施している。
3. 入居者等の処遇の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、2月の園内行事、について説明する。新規入居者に対してユニットで歓迎会を行った。また、季節の行事として1月に繭玉作りを、2月には豆まきをおこない昔を思い出したり気分をリフレッシュさせることができたことを伝えた。
4. 入居者様の健康管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナワクチン接種については、4名の入居者が副反応として38℃台のは発熱がでたが、1～2日で症状が治まった。大多数の職員は発熱や倦怠感の症状の訴えがあった。接種翌日は公休としていたが、体調回復せずそれ以上に休む職員もいた。
5. 事故・苦情等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誤薬に関しては今年度3回目であり、調剤薬局と相談や調整をおこない改善を図っている。

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
6. 活動実績・今後の 予定	・骨折に関しては、骨粗しょう症で骨の脆さもあるが、無理な力が加わらないよう
	衣服の着脱やタオルを使用して移乗するなど事故防止に努めている。
	・負傷の内出血の原因については、血液をサラサラにする薬を飲んでいたり、
	どこかにぶつけた可能性によるものではないかと考えている。
	・転倒のセンサーマットに関しては、接触不良が原因で修理に出している。
7. その他（意見交換）	・ヒヤリハットの合計件数の訂正（2→4）
	別紙参照
	・コロナウィルス関連で質問あり（大野様）
	→帛の郷職員や家族には感染者や濃厚接触者もいなかった。法人全体では、濃厚
	接触者となった職員がいたが、一定の自宅での待期期間後に抗原検査キットを
	使用し陰性を確認後勤務してもらった。
	・五泉小学校での今後の児童との交流事業について説明あり（山崎五泉小学校校長）
	来年度もコロナ感染状況の様子をみて判断していく。また職員の地域貢献活動
	として、施設の外での活動として窓ふき等あればさせていただきたい。
(次回開催は5月の予定)	